

## ～検便の採取～

腸内細菌（便）検査は、  
 一見健康に見えながら体内に病原体を保有している「健康保菌者」を早期に発見することが目的です。  
 保有している状態に気づかないまま業務を行うことによる食中毒事故防止のため大切な検査ですが、  
 採取していただく検体量によっては、検査結果が出ない場合があります。  
 弊社使用のバーコード付き検体袋の裏面にも採取方法は記載がございますが、  
 再度下記をご確認の上、採取をお願いいたします。

ラベルを図のように

容器と平行に

縦長に貼って

ください。



キャップを

ゆっくり

上に

引き抜き

ます。



便の表面にスティックの先端を

2、3回刺し（または表面にこすりつけて）、

**先端の穴部分が隠れる(あずき大)程度**

採取してください。

※それ以上の量は必要ありません。

※軟便の場合も同じくらいの量の採取をお願いします。



スティックを容器に入れ、パチンと音がするまでしっかり差し込んでいただければ完了です。

検体量不足の場合は一旦ご連絡させていただき、再度の御提出をおすすめしております。

寒い時期になってまいりました。検体量不足の方がやや多くなっておりますので、

今一度の周知をお願いいたします。

株式会社 **九州保健ラボラトリー**  
 Kyushu Hoken Laboratory

<http://www.kyuhoh.co.jp>